

# 佐保会静岡支部だより

平成30年3月1日

〈巻頭に寄せて〉

平成29年度静岡支部長 吉原崇恵

『おらおらでひとりいぐも』を読んで。

タイトルに惹かれるではないか。筆者が一人暮らしの覚悟を、始終自分に言い聞かせているからだろうか。この小説は平成29年下半期芥川賞2作品の一つである。作家は1954年生まれの若竹千佐子氏。岩手弁のタイトルは宮沢賢治の妹の最期の言葉という。小説の主人公桃子さんは74歳の老女（他に言葉はないか、筆者も老女か）で夫亡き後、一人暮らしである。何事にも意味を見つけたい理屈っぽくめんどくさい女性である。だから何かにつけて心の中の声が「ああでもない、こうでもない」と

一つの問いにいくつもの解が出て小説の大半はその呟きで占めている。脳内住人に自分を語らせる方法のおかげで、くどくなく自意識過剰にならず客観を装うことに成功し読者を納得させる。桃子さんが夫の急死を長い間受け入れられずにいた経過の中で夫の死の意味に考え至るところがある。「周造は惚れた男だった・・・それでも周造の死に一点の喜びがあった・・・おらは独りで生きてみたがったのす・・・周造はおらを独り生がせるために死んだ。はがらいなんだ・・・それが周造の死を受け入れるためにおらが見つけた意味だのす」。こうして「なんぼになっても分かるのは楽しい・・・んでもその先に何があんだべ。おらはこれなら何を分がろうとするのだべ・・・」。自問自答ばかりしていた時、孫娘がやってきて「誰と話していたの」「こわくないの」

「・・・だっておじいちゃんがお兄ちゃんとさやかのことまぶっていると、ママが言ってるよ」「どうしたの、おばあちゃんどうして泣いてるの」。桃子さんにいつもとは違う笑いがこみ上げた。

筆者の通うワンコイン体操教室に92歳の女性が手押し車で参加される。先週は欠席だった。だから今週顔を見た時「先週はお風邪でしたか」と声をかけた。「出かけようとしたら1万円札しかないの、家中探しても。買い物に出ないから小銭がなくて」と。二人で笑い転げた。律儀な老女の一人暮らしだと、どちらも言葉には出さないけれど。人とかかわって共感して単純に笑って健康的だ、と思った。

同窓会で自問自答の材料を得るもよし、共感して笑うもよし、をオチとしよう。



佐保会徽章

## ★平成 29 年度支部総会の報告

平成 29 年 7 月 8 日 会場：クーポール会館（静岡市）参加者 24 名 司会進行（竹内礼子）

### I 総会次第

- （1）平成 28 年度の支部長挨拶（代読）、事業報告、会計報告。
- （2）平成 29 年度役員紹介（支部長：吉原崇恵、書記：竹内礼子、会計：瀧浪則子）  
地区役員紹介（東部：大嶽真理子、大久保あかね）（中部：中村里美、澤渡千枝）  
（西部：馬淵京子、中島雅美子）。ホームページ管理（中村里美）
- （3）平成 29 年度支部長挨拶、事業予定、予算案 監事の設置（小田巻静江）→議案はすべて承認された。
- （4）昼食と懇談 ベテラン、中堅から近況報告や活動の案内があった。

### 平成 28 年度会計報告並びに 29 年度収支予算

収入の部 費目	H28 年度実績	H29 年度予算
前年度繰越金	193,347	204,557
本部会費 (1500 円)	177,000	180,000
支部会費 (1000 円)	127,000	130,000
当該年度以外の会費		
一般財団法人佐保会より	46,050	47,000
預金利子	2	2
合 計	543,399	561,559

平成 28 年度 支部長：山本志保美 会計：小嶋妙子  
平成 29 年度 支部長：吉原崇恵 会計：瀧浪則子

支出の部 費目	H28 年度実績	H29 年度予算
本部会費 (本部へ納入)	172,500	180,000
支部総会	31,478	90,000
地区活動費	25,800	25,800
通信費	32,791	35,000
事務費	21,335	30,000
支部長活動費	3,000	3,000
書記・会計活動費	3,000	3,000
支部長交通費	10,160	10,160
引継ぎ会費	38,778	0
次期繰越金	204,557	
予備費		184,599
合 計	543,399	561,559

### 平成 29 年度事業計画

総会・公開講座開催・宣伝（県教委後援依頼の申請書類作製と提出）  
会費納入の呼びかけ（総会、地区会の案内はがきにて）  
各地区会開催、支部便りの発行、奈良女子大志願者拡大のための宣伝活動  
支部会員への情報提供・共有、佐保会静岡支部の HP 運営など。

## II 公開セミナー

テーマ 女性の活躍とリケじょ～「リケしず」の取り組みを通しての現状と課題～

講師 澤渡千枝 静岡大学教授



「理系女子夢みつけ★応援プロジェクト in しずおか実行委員会」の報告からデータでの現状分析が紹介された。日本が先進諸国と比べて「ジェンダー・エンパワーメント指数」が低く女性の潜在労働力が存在していること。女性の進路選択の悩みを解決することによって産業界と教育界の人材のミスマッチを解消する必要が示された。

子ども達を取り巻く陰に陽にある情報を含めて「女性を拘束する呪い」から解放され「変化は徐々にでも着実にすすんでおり今の若い世代は昔より恵まれている」時代をさらに推し進める諸取り組みが意味を持つと理解された。「多様なジェンダーは科学を強くする」と言う言葉は「ものづくり県・静岡」にも日本の経済産業の戦略としても柱になると力づけられた講演でした。

会員外からの参加は女子高校生が一人でしたが、高校での学習と大学進学、将来の生き方を考えることが出来たそうです。若者に夢を持ってもらえることは本当に嬉しいことです。（吉原崇恵）

### ●東部地区会報告（地区幹事 大嶽・大久保） ～～～五感で味わったランチに大満足～～～



平成 29 年 10 月 21 日(土)、三島大社の近くにあるレストラン『三島テラス』にて開催しました。

当日は台風による秋雨前線の動きが活発であいにくのお天気でしたが、10名の皆様が集まりました。シェフの繊細で見事な出来映えの料理に大満足しました。食材も調理方法も豊富で、色んな味が絡み合い至福の時間となりました。集まった皆様のお話も多方面に渡り、おしゃべりがお料理の美味しさを一層引立てまし

た。お元気で活動的な皆様の生き方に、背中を押されるようでした。

会食後は時間のある方で、佐野美術館の「虫尽し展」を見学しました。

### ●中部地区会報告（地区幹事 中村、澤渡） ～～～「お茶」を知る～～～

平成 29 年 10 月 28 日（土）、静岡県教育会館にて 9 名の参加で開催しました。

午前中は懇談会で、9 月 24 日に奈良市で開催された佐保会本部会議の報告をうかがった後、秋の味覚がふんだんに盛り込まれた季節限定の特製お弁当の昼食をいただきながら、皆さんで近況報告をしました。約 15 年ぶりに地区会に参加された方、初めて参加された平成卒の 30 代の方など、それぞれの方がそれぞれのステージで、目標を持ちながら自身の人生を充実させ生活していらっしゃるお話を聞き、勇気をいただきました。

午後は、葵区土太夫町にある「茶町 KINZABURO」へ移動、利き茶&ブレンド体験を行いました。日本茶インストラクターで TV チャンピオンお茶通王の茶匠、前田富佐男店主より、「茶町」の歴史、さまざまなお茶の種類（産地・加工法）、お茶のブレンドの仕方などの説明を受けた後、皆さんで実際に自分の好みのお茶を創るブレンド体験を行いました。全国の生産地から集められた荒茶（あらちゃ）は育てられた場所や生育法によって「浅蒸し」「深蒸し」に分類（横軸）、また、煎茶問屋の工場での仕上げ加工で「焙煎」「新鮮香」に分類（縦軸）されます。それらをうまくブレンドしながら自分の好みにあったお茶を創りました。「お茶処 静岡」にお住まいの皆様だけあってお茶について造詣も深く、このブレンド体験はとても興味深かったとご好評をいただきました。日頃なにげなく飲んでいる「お茶」について深く触れることができたこと、また同窓の先輩方と一緒に和気あいあいとこのような体験を通して温かい絆を深めることができたこと、とても有意義な一日となりました。



### ●西部地区会報告（地区幹事 馬淵、中島） ～～～知ってるようで知らない地元 地元再発見～～～



平成 29 年 11 月 19 日（日）浜松市で開催しました。今年度は、「知ってるつもりで実はよく知らない」「気になっているが一人でなかなか出かけない」場所をあえて選び、地元を再発見しようと企画しました。

参加者は 8 名で、まず賀茂真淵記念館で特別展「賀茂真淵と本居宣長」を見学しました。記念館職員の皆様のご厚意によりビデオで施設と賀茂真淵について学んだあと展示の解説をしていただきました。時代背景や人間関係、師弟関係などを伺うと展示物の意味がわかり、「おもしろいね。」という声が上がりました。地元の偉人の

学び続けた姿は皆さんの知的好奇心をおおいに刺激したようでいくつかの質問も出ていました。

そしてシャンボールガーデン旬粋庵で美しく色づいた木々を眺めながら昼食をとり、歓談。その後は時間の関係で有志のみとなりましたが、浜松科学館プラネタリウム「オーロラの調べ」の鑑賞も行いました。大人も楽しめるプログラムで雄大な自然とオーロラに包まれ、忙しい日常を忘れるひとときでした。

話題の場所や流行りものを見る企画ではなかったのですが、皆さんにある程度楽しんでいただけたようです。年齢に関係なく親しくお話ができて、互いに刺激しあえる貴重なつながりをこれからも大切にしたいと思える一日でした。

#### 平成 29 年度地区役員

楽しくて勉強になる地区会をありがとうございました

東部地区幹事：大嶽真理子（S56 家食）大久保あかね（S62 文体）

中部地区幹事：中村里美（S60 理物）澤渡千枝（S57 家博）

西部地区幹事：馬淵京子（S56 文英）中島雅美子（S57 文英）

平成 29 年 9 月 24 日（10 時～ 16 時）奈良ホテルにおいて本部の総会が行われ、静岡支部長の代理として書記・竹内が出席しましたので報告します。

### 1. 一般社団法人佐保会第 6 回代議員定時総会

一般社団法人佐保会は以下の事業を行っている。

- (1) 地域社会の文化向上貢献として各種の講演会や文化教室を開催する。
- (2) 国立大学法人奈良女子大学への支援として、奨学金の授与や佐保会館の無償提供を行う。
- (3) 共益事業として、佐保会報の発行、新入生・卒業生の歓送、入会の勧誘など。
- (4) 賃貸事業として、佐保会東京会館と佐保会館の賃貸事業。その他。

大学が国立大学から国立大学法人へ移行した際、同窓会は、営利を目的としない法人である「一般社団法人」となり法律に従って毎年、関係機関に決算報告書類等を提出することになった。

佐保会は佐保会館や佐保会東京会館など不動産を所有しており、その財産目録や貸借対照表などの決算を総会で承認する。総会で議決権を持つ代議員は 29 年度は全国に 119 人おり、関西の府県で 48 人、東京神奈川愛知で 13 人、その他の県は 1-2 人が代議員に任命されている。

### 2. 奈良女子大学同窓会佐保会第 6 回総会

各支部の現状報告。会費の納入率が低い、若い会員の入会が少ないなどの報告が出された。静岡からは 7 月に行った支部総会での公開講座の報告をした。（隣りにいた岡山支部長さんからやったことを言いなさいと助言）

### 3. 第 6 回奈良女子大学同窓会佐保会懇親会

学長、前学長、元学長から最近の大学の状況などをお話しされた。その後、音楽演奏とお食事を楽しんだ。

佐保会静岡支部のホームページを活用して <https://sahokaishizuoka.jimdo.com/> 同窓生の「活躍」や「異動」をお知らせください

支部総会や地区会の様子を掲載しています。また、同窓生のご活躍の様子（著作の発行、受賞、新聞掲載など）も載せたいと思います。ホームページを活用して下さい。

住所変更や改姓等が生じたときは、ホームページのアドレスと各地区幹事に連絡ください。

平成 29 年度・30 年度「静岡支部役員」 抜群のチームワークでもう 1 年、3 人で務めます  
支部長：吉原崇恵（S43 家修） 書記：竹内礼子（S49 家住） 会計：瀧浪則子（S49 理生）

平成 30 年度「地区新役員」 よろしくお祈いします

東部地区幹事：大久保あかね（S62 文体） 江島真由美（S56 理生）

中部地区幹事：澤渡千枝（S57 家博） 小川裕子（S54 家修）

西部地区幹事：中島雅美子（S57 文英） 小澤 幹（S57 文史）

### 会費納入のお願い

平成 29 年度の会費が未納の方には、郵便局の振込用紙を同封しました。

※行き違いのあった場合には、ご容赦ください。

納入よろしくお祈いします。決算の手続き上、3 月 31 日までに納入して下さい。

会費納入者は、静岡支部 420 人のうちの 120 名程度です。郵便代も値上げになり資金不足です。同窓会活動を円滑に行なうためには皆さまのご協力がぜひとも必要です。よろしくお祈いします。

会費：2500 円（本部会費 1500 円 支部会費 1000 円）

郵便振込：口座番号 00860-2-18252 奈良女子大学同窓会佐保会静岡支部

\* お名前ご住所のほかに卒業年（S または H〇〇年）と学科、学部・修士・博士を記入して下さい。（同姓同名の方がいる可能性があることと名簿の確認のため）

\* 本部会費は S35 年卒までと H26 年卒以降の方は不要です。